

がんセンター だより

2021年
9月
発行
—Vol.4—

寄り添い、
共に歩む医療をめざして ——

目次

がん診療センター長あいさつ
がんセンターボードミーティングの紹介
対話カフェ
アピアランスケア相談会について
がんセンターからのお知らせ



がん診療センター長

あいさつ

がん診療センター長
臨床腫瘍科教授

板持 広明



がん診療センターは、岩手医科大学附属病院のがんセンターに、内科部門、外科部門、臨床腫瘍科部門、病理部門、放射線部門、歯科部門の6部門からなる新しいセンターと

して2021年4月1日に設置されました。各部門の密接な連携の下に、がん患者さんに対して診療科の垣根を越えた臓器横断的かつ総合的ながん診療を行い、患者さんの生命予後とクオリティ・オブ・ライフ（QOL…生活の質）の改善に向けた取り組みを推進して参ります。

当院は、「都道府県がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関と連携して、各診療科・部門を中心に患者さん本位の専門性の高い総合的ながん診療の提供に努めており

ます。一方、近年のがん診療の進歩は著しく、新しい治療法や抗がん薬が次々と開発され臨床に応用されています。

また、医薬品の効果や副反応を事前に予測するために行われるコンパニオン診断や、がんに関連する多数の遺伝子変化するのを同時に解析するがん遺伝子パネル検査が実用化されてきました。これらの新しい検査方法を用いて、一人一人のがんの遺伝子変化（がんの個性）を明らかにし、患者さんにより適した治療などを行うがんゲノム医療が本格的に始まりました。がん診療センターでは、このような治療の多様化にも対応するために、以下の活動を行っております。

①各診療科・部門が連携した臓器横断的で総合的な治療。

②がん薬物療法（いわゆる抗

がん剤治療）や放射線治療との併用療法。

③手術療法や術前・術後のがん薬物療法。

④がんの個別化医療やがんゲノム医療（がんの遺伝子情報に基づく治療）の推進。

⑤カンサーボード（多診療科・多職種による症例検討会）によるがん診療の総合的検討。

これまで以上に高度かつ専門的な診療を行うと同時に、がん薬物療法、放射線治療、手術療法、病理・遺伝子診断、口腔ケアなど各分野が有機的に連携した総合的な診療体制の構築に尽力する所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2021年 がんセンター企画 もっと知りたい! がんの診断と治療の最前線



岩手医科大学附属病院 がんセンター

がんセンターでは、コロナ感染拡大に伴い、がん患者さんとそのご家族に対するがん関連情報が十分に発信されていないことを踏まえ、これまでがんセンターが取り組んできた医師との「対話カフェ」に代わるコンテンツを収録して最新情報をがん患者さんやご家族に広く周知を図ることを目的として動画を公開しております。

学校法人岩手医科大学 公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCWMILNlL_OnLX3ftq2-YR9A/videos



QRコードは
こちら



第1回

「肺がん治療と全身治療」

岩手医科大学 内科学講座
呼吸器内科分野 教授
岩手医科大学附属病院
化学療法センター長

前門戸 任 先生



第2回

「多発性骨髄腫の診断と治療の進歩」

岩手医科大学 内科学講座
血液腫瘍内科分野 教授
岩手医科大学附属病院
がんセンター長

伊藤 薫樹 先生

「今後もがんに関する様々な情報を動画でアップ予定です。
皆様、ぜひご覧ください。」

岩手医科大学公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しております。



アピアランスケア 相談会について



高度看護研修センター専任教員
がん看護専門看護師

横田 眞理子



がん患者・家族サロンにおいて、2018年3月から毎月1回アピアランスケア相談会のイベントを開催させていただいております。

がん治療が進歩し長期生存が可能となったため、仕事を持ちながら治療通院をしているがん患者は36.5万人（厚生労働省2016年）になりました。それによって「どれだけ生きるか」から「どのように生きるか」が注目されてきましたが、治療技術・薬剤の顕著な進歩と新たな副作用の重症化が出現してきました。そのため、医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアの提供が行なわれるようになりました。

アピアランスケアとは外観、外見を意味するアピアランス（Appearance）とケア（care）を合わせた造語です。国立がんセンター中央病院で「医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア」と定義し、アピアランスケアを学ぶ研修会が開催されるようになり、私も基礎編と応用編を受講しオレンジクロージャーバッジをいただきました。その知識を活かし患者さんやご家族のために役に立ちたいと、がん患者・家族サロンでイベントを開催させていただいております。

がん患者・家族の様々なニーズに対し、質の高い看護を提供しQOLを高める。特に、がんの治療により皮膚や爪の色の变化、爪の変形、脱毛など外見の悩みに対処して、患者

さんの「生きる」をサポートすることを目的として活動しております。

来訪する患者さんやご家族の多くは治療の合間に来訪し、脱毛、皮膚トラブル、爪などの整容的な相談だけでなく身体の不調や家庭での気兼ねなど、いろいろな相談をして帰られます。自分が行っているケアが正しいのか、もっと何か方法があるのか、術後の容貌の変化をカバーするメイクを教えてほしいなど、1人ひとりが抱える悩みはそれぞれなのでじっくりお話を伺い、その時々で最善の支援ができるように関わっています。メイクも、美しく整えるというよりは訪室される方の価値観を尊重しながら自信をもって生活ができるように、できていることを承認し、困っていることについては対処方法を一緒に考えています。帰られる時は「お話しして良かった。」「久しぶりに笑った。」「と晴れ晴れとした表情になり帰られます。

今後も、サロンスタッフの方々と情報共有を行いながら「がん患者・家族の生きることを支える」活動を継続していきたいと考えています。

周りにそのような方がいらっしゃったらぜひ、お声をかけていただきたいと思います。



がん患者医療用補正具 (医療用ウィッグ) 購入支援について



県内の16市町村では、がんと診断され、治療を続けながら、仕事や家庭生活等の社会生活を自分らしく過ごすことができるよう、医療用ウィッグを使用する方に対して、購入費用の一部を補助する支援を行っております。

実施主体の市町村

盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、遠野市、陸前高田市、一関市、二戸市、奥州市、滝沢市、雫石町、金ヶ崎町、平泉町、住田町、普代村、野田村

対象品目及び補助額

全頭用の医療用ウィッグ（本体に含まれない付属品、ケア用品を除く）1台当たり補助上限額23万円（実施市町村により異なります。）

詳しくは、お住い（住所地）の市町村担当課までお問い合わせください。



がんサロンスタッフが 交代いたしました



3年間皆様方にお世話になりましたスタッフの高橋明美が、5月末をもちまして退職いたしました。

在職中には、病院の矢巾移転もありましたが、皆様方に変なお世話になりました。また、がんサロンにいらつしやる皆様には、コロナ禍の状況により、ゆつくりとご挨拶もできないままの退職となつてしまいお詫び申し上げます。

5月より新たに大森ハツエが、新しく着任いたしました。これまでどおりがんサロンをどうぞよろしくお願い申し上げます。



後任の大森ハツエ



がん患者・家族サロンの ホームページをリニューアルしました。

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>



QRコードはこちら



ホームページ リニューアルのお知らせ

いつもがん患者・家族サロンをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当サロンでは、このたび、より使いやすく快適にご利用いただけるよう、ホームページのリニューアルを行いました。

わかりやすく最新の情報をお伝えできるホームページを目指しますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

寄 贈 状 況

4月からの寄贈状況

- タオル帽子 72個
- コットン帽子 101個
- 折り紙作品 32個
- 50羽鶴キーホルダー . . 50個
- アクリルたわし . . . 109個
- 木工細工作品 20個



タオル帽子



コットン帽子



折り紙作品



50羽鶴キーホルダー



アクリルたわし



木工細工作品

他、有志の方からアイディア帽子、折り紙作品、ウィッグなど400個以上の寄贈がございました。心のこもった手作り作品を寄贈頂き誠にありがとうございます。

患者様よりお礼のメッセージが届いております。

ステキな手編み帽子を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。これから髪の毛が抜け落ちる事、すごく不安です。時々がんサロンに寄らせていただこうと思っております。作り方も入っており、大変ありがたかったです。これから私も編んでみようと思います。本当にありがとうございます。

まけないぞうを見るたびに、病気に対して頑張る気力が増えます。家族のためにまだまだ生きなければと思いました。ありがとうございます。

被ってみて気持ちが楽になるタオル帽子を作っていただい有難うございます。被りやすく、その上優しい気持ちになれる柄がとても気に入っています。髪の毛が治療で抜けてしまうのは女性として悲しいものですが、そんな時でも気持ち良く過ごせてとても感謝しています。これからも私のような患者さんを励ますためにタオル帽子を作り続けてください。よろしくお願い致します。

かわいい帽子をありがとうございます。抗がん剤の治療は辛く泣いてばかりですが、かわいい帽子に出会って笑顔になりました。大切に使用させていただきます。帽子をかぶって治療を乗り越えたいと思います！

すてきな折り紙ボックスありがとうございます。見てきれい、触ってうれしい。私にとっては本当に魔法のプレゼントでした。嬉しくいただきます。



院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなくどなたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめ日時をお約束することをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平 日 (月～金) 9:00～16:00
第1・第4土曜日 9:00～12:00
岩手医科大学附属病院 1 階
患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者およびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111 (内線 3222)

平 日 (月～金) 10:30～16:30

岩手医科大学附属病院 東エレベーター 2 階 20 番



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～ 一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編集後記

がんセンターだよりを最後までお読みいただきありがとうございました。新型コロナの終息もなかなか見込めない状況ですが、感染対策には十分にお気を付けてお過ごしください。



岩手医科大学

問合せ先

岩手医科大学附属病院 がんセンター
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1-1

TEL 019-613-7111
(内線 3222)